

## 四国支部 研究委員会「次世代のコンクリート構造物の劣化診断に関する特別研究委員会」の委員公募について

応募期限：2016年6月30日（木）

日本コンクリート工学会 四国支部

---

日本コンクリート工学会四国支部では、平成28年度から研究委員会「次世代のコンクリート構造物の劣化診断に関する特別研究委員会」（委員長：徳島大学 橋本親典，幹事長：香川大学 岡崎慎一郎）が新規で発足します。つきましては、下記のとおり委員を公募いたしますので、ふるってご応募ください。

### 記

1. **応募方法**：E-Mail で下記まで①氏名，②所属・連絡先を送付ください。  
香川大学工学部 岡崎 慎一郎  
E-mail: : okazaki@eng.kagawa-u.ac.jp
2. **応募資格**：四国支部圏内（香川県，徳島県，高知県，愛媛県）に在住または勤務する四国支部所属会員とする。
3. **応募期限**：2016年6月30日（木）
4. **選考方法**：委員長および幹事長が行う。
5. **活動内容**：既設構造物RC構造物の維持管理では、定期的目視あるいは機器による検査を実施し、その検査結果から劣化診断を行う。現状、目視による点検が大半であり、劣化がある程度顕在化した状態でないと診断ができないため、潜在的な劣化を非破壊で検知する手法が求められている。本研究委員会では、既設構造物を対象とした非破壊検査手法により、表層コンクリートの強度、物質移動抵抗性、含水率等の評価、かぶりコンクリートのひび割れ深さや、表層に現れない損傷の探査、鉄筋腐食の有無や腐食速度等を非破壊で評価できる手法に加え、効果的で効率的な維持管理の実現のための点検支援ソフトウェア等について、既存の手法の調査を行うとともに、既存の手法に加え各委員が提案する新しい手法の実構造物への適用性について、現場での共通試験等を通じて検討することを目標とする。
6. **その他**：研究委員会の活動は原則として2年間とする。